

INON

インドームスパー for UWL-100 28AD

イン製品のお買い上げ有難う御座います。

インドームスパー for UWL-100 28AD は、ワイドコンパージョンレンズ UWL-100 28AD に、ドームレンズユニット for UWL-100 を取り付ける際に必要となる、オプションパーツです。

製品内訳 : ・ ドームスパー for UWL-100 28AD 本体 ①
・ 六角レンチ ②
・ 使用説明書(本書)

対応製品 : ・ イン UWL-100 28AD
(2005 年 5 月現在) + インドームレンズユニット for UWL-100



以降、本使用説明書では、本製品を使用して、『UWL-100 28AD』に『ドームレンズユニット for UWL-100』を組み合わせた場合の“取り付け手順”及び、組み合わせたレンズユニットの“使用方法”や“メンテナンス方法”等について説明します。本構成での“性能”/“仕様”/“オプション”や、『UWL-100 28AD』/『ドームレンズユニット for UWL-100』の各部名称等につきましては、『UWL-100 28AD』或いは『ドームレンズユニット for UWL-100』付属の使用説明書に記載されていますので、そちらをご確認下さい。

- UWL-100 28AD の確認 :
- ・ 金属製レンズ筒の外側、右画像矢印で指し示した面に**灰**や**異物の付着等がない事を確認して下さい**。**灰**等がある場合、UWL-100 28AD とドームレンズユニットとの防水を行う事が出来ませんので、有償での UWL-100 28AD の金属製レンズ筒交換を行う必要があります。詳細は、ご購入頂いた販売店、若しくは直接弊社までご相談下さい。
 - ・ 最も被写体側のレンズ面に重度のシミ/ヤケ等が無い事を確認して下さい。ドームレンズユニットの取り付け自体は可能ですが、写り込み等、得られる画像に問題が生じる可能性があります。UWL-100 28AD の修理をご希望の際には、有償でのレンズ交換となります。詳細は、ご購入頂いた販売店、若しくは直接弊社までご相談下さい。

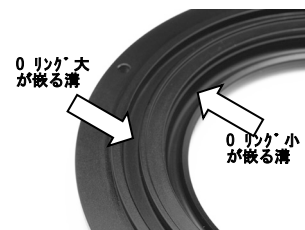


- 組立前の準備 :
- ・ UWL-100 28AD の金属製レンズ筒の外側、右画像丸印で囲った部分の『プラスチック製 矽/ワッシャー』合計 4 組(4箇所)を、付属の六角レンチで緩め、取り外して下さい。この『プラスチック製 矽/ワッシャー』は、オプションの花型フード for UWL-100 28AD を装着する際に使用する矽穴を保護する為の物ですが、同オプションのドームレンズユニットを取り付ける際にも干渉してしまいますので、取り外す必要があります。取り外した矽は、ドームレンズユニット/花型フード共に使用しない場合、再度取り付けを行いますので、大事に保管して下さい。
 - ・ 本製品、ドームレンズユニット本体、ドームレンズユニット押え、及びドームレンズユニットの取り付けを行う UWL-100 28AD について、**完全に乾燥している事を確認して下さい**。取り付け時との露点の差により、使用中に結露が生じる事を防ぐ為です。
 - ・ 必要に応じ、ドームレンズユニット、及びドームレンズユニットの取り付けを行う UWL-100 28AD の**レンズ面の清掃を行って下さい**。
 - ・ ドームレンズユニット本体、及びドームレンズユニット押えについて、右画像矢印で指し示す、**O リングに接触する面、及び O リングが嵌る溝に灰や異物の付着等がない事を確認して下さい**。
 - ・ ドームレンズユニット for UWL-100 に付属の O リング大、及び O リング小について、**灰/ひび割れや異物の付着等がない事を確認して下さい**。

他にも背面に1箇所、計4箇所



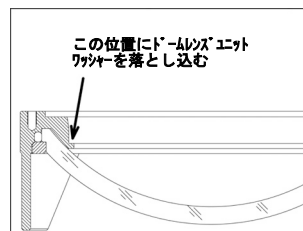
ドームレンズユニット本体



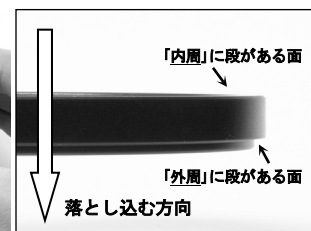
ドームレンズユニット押え

レンズユニット組立方法

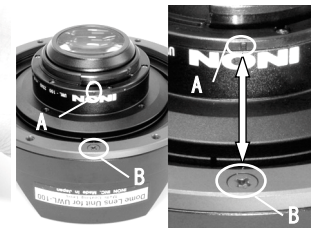
・ 温度の低い乾燥した室内にて、以下作業を行います。
 先ず、ドームレンズユニット本体を置き、ドームレンズユニットワッシャーを重ねます。
 ドームレンズユニットワッシャーが、右画像矢印で示した部分まで、全周に渡って完全に落とし込まれている事を確認して下さい。



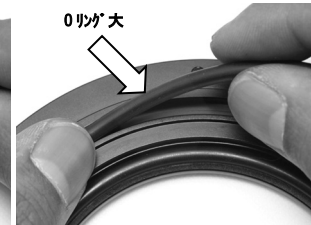
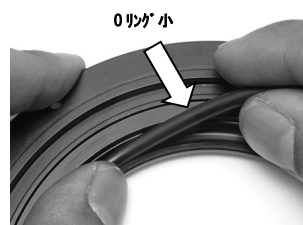
本製品 (ドームスコーパー for UWL-100 28AD) を、ドームレンズユニットワッシャーの上に落とし込みます。この際、右画像の通り、本製品の『外周部に段がある面』を下にして、全周に渡って完全に落とし込まれている事を確認して下さい。



UWL-100 28AD を、本製品の『内周部の溝』に重ねる様にそっと置きます。
 この際、UWL-100 28AD 側の『指標 A』(右画像「A」)と、ドームレンズユニット本体『一体型プロテクター部裏面中央のプラスネジ』(右画像「B」)とを結ぶ距離が最も短くなる位置 (=右図画像の位置) まで、UWL-100 28AD をゆっくりと回転させて下さい。



インクを指先に米粒大取り、指の先で広げてから、Oリング 大/Oリング 小に薄く塗布します。
 その後、Oリング が振れない様に注意しつつ、ドームレンズユニット押えの Oリング が嵌る溝の奥まで均一にセットします。



Oリング をセットした面を下に向け、ネジ穴を合わせてドームレンズユニット押えを重ねます。セットしたOリングを脱落させない様、ご注意ください。

6 つのネジ穴にそれぞれキャップネジを落とし、キャップネジを対角線状に締め付け、一部だけが締め付けられた状態を作らない様に注意しながら均等に締め付けます。締め過ぎるとドームレンズユニットが破損する可能性があります。ご注意ください。



使用中のドームレンズユニット内面への結露発生を防ぐ為、UWL-100 28AD への取り付けを行う場合には必ず、1) ドームレンズユニット/UWL-100 28AD の双方が完全に乾燥している事を確認した後、2) 温度の低い、乾燥した室内にて作業を行って下さい。

レンズユニットの 使用前検査

- ・ 組み立てたドームレンズユニット/UWL-100 28AD をご使用になる前には、組立が正しい手順で行われ、ドームレンズユニットとUWL-100 28AD との間が気密に保たれている事を確認する為、**必ず、清浄な真水(30°以下)を満たした風呂等に、組み立てたドームレンズユニット/UWL-100 28AD を洗って静置し、浸水が無い事を確認して下さい。**

レンズユニットの使用法

- ・ **ハウジングへの取り付けについて**
対応する 28AD マウント/28AD ポート前面に、UWL-100 28AD 単体と同様に取り付けを行います。取り付け方法の詳細は、UWL-100 28AD 付属の使用説明書をご確認下さい。ハウジング 前面、或いは 28AD ポート全面のレンズと、ドームレンズユニット/UWL-100 28AD の間に空気が入らぬ様、**水中で取り付けを行う**、或いは、**水中でレンズを一旦外し、取り付け直す事**をお勧めします。
- ・ **カメラのズーム設定について**
カメラのズーム位置はワイド端にセットしてご使用下さい。ケラが発生する場合には、撮影後にケラをカットしてご使用下さい。この状態にて最良の画質/効果を得る事が出来る様設計されています。

- ・ **カメラのフォーカス設定について**

以下のカメラと使用する場合、**カメラのメモリーモードを ON に設定**します。

カメラ: C-7070WZ, C-5060WZ
カメラ: S70, S60

各カメラのフォーカス(ピント)位置と、実際の撮影距離(被写体とドーム先端からの距離)との対応に付きましては、ドームレンズユニット for UWL-100 付属使用説明書巻末のレンズ仕様表をご確認下さい。

レンズユニットの メンテナンスについて

- ・ ドームレンズユニット/UWL-100 28AD ご使用後は、**必ずハウジングから取り外し**、清浄な真水中(30℃以下)に数時間静置して塩分等を除いた後、エタノール等で**水滴を吹き飛ばし、レンズ面に水滴が残っていない事を確認した後、そのままの状態、直射日光の当たらない**、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい(完全乾燥には数日掛かる可能性があります)。
- ・ **完全乾燥させた後に**、前述「組立方法」の項と逆の手順でドームレンズユニット、及び本製品をUWL-100 28AD から取り外し、UWL-100 28AD/ドームレンズユニット本体/ドームレンズユニット押えの、O リング、O リングが嵌る溝、O リングが接触する面の清掃、及びUWL-100 28AD/ドームレンズユニット本体の穴へ、楊枝等を用いてグリaspアップして下さい。
- ・ 次回ご使用に備え、再度ドームレンズユニット/UWL-100 28AD と本製品とを組み立てた状態で、また、次回UWL-100 28AD 単体で使用する場合には、UWL-100 28AD に穴保護用プラスチック、及びレンズキャップを取り付けた状態で、ドームレンズユニット単体と共に、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で保管して下さい。樟脳やナフタリン等の薬品雰囲気下や、高湿度下、温度変化の激しい場所等での保管は、故障や浸水、レンズ表面の変性やカビの発生等の原因となりますので、お止め下さい。



レンズユニット 使用上の注意

- ・ UWL-100 28AD にドームレンズユニットを取り付ける場合、後付け加工という本製品の性質上、(上述の)使用ズーム位置を守ったとしても、UWL-100 28AD 単体での使用時と比較して、特に周辺部における画質の劣化が生じる場合があります。**カメラの絞りをなるべく絞り込む事で、画質を向上させる事が可能**です。ご了承頂くと共に、使用時にご考慮下さい。
- ・ **ご使用後、UWL-100 28AD/ドームレンズユニットのレンズ共に水滴(海水/真水共に)を残したまま放置したり、濡れたレンズカバーを取り付けたり等、しないで下さい。**コーティングやガラス等の劣化による、シミ/ヤケ等の原因となります。軽度のシミ/ヤケは撮影に支障を来しません、重度の場合は問題となる可能性があり、修理をご希望の際には、有償でのレンズ交換となります。
- ・ **弊社製品を分解しないで下さい。**故障や浸水の原因となります。また、本製品を組み付けたUWL-100 28AD/ドームレンズユニットをハウジングから取り外す際には、**ドームレンズユニットを持たず、UWL-100 28AD のレンズ筒中央部分(“製品名の印刷”や“シールが貼ってある”部分)を持って回転させて下さい。**ドームレンズユニットに過度の力を加えた場合、UWL-100 28AD との防水部分や、UWL-100 28AD 内のレンズを押えている部分に緩みが生じ、浸水が起こる可能性があります。
- ・ ポートなどの激しい振動や大きな衝撃をドームレンズユニットに与えないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ 不用意に直射日光の当たる場所に放置しないで下さい。太陽光が集光され、火災の原因となる場合があります。また、レンズを通して太陽を見ないで下さい。目に損傷を受ける可能性があります。
- ・ 砂浜や船のデッキ上など、強い直射日光の当たる場所や、炎天下の自動車内など、高温となる場所に放置しないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ カメラの内蔵ストロボは基本的にケラします。対応する外部ストロボ(弊社 D-2000 等)の使用をお勧めします。

有限会社 イノン

〒247-0061

神奈川県鎌倉市台 2-18-9

Tel. 0467-48-2174

Fax. 0467-48-2178

E-mail support@inon.co.jp

URL <http://www.inon.co.jp/>

2005 年 5 月